

地域が主体となって運営する、 地域の子どものための「うんどうクラブ」

静岡県

浜松市立村櫛むらくし小学校

全校児童数155名
(男子85名 女子70名)

電話番号 053 (489) 2824

実践内容

実施目的

- ①休日に室内でゲーム等をして遊ぶことが好きな子どもよりも、外に出て体を動かすことが好きな子どもを増やす。
- ②地域の大人が率先して運動に親しみながら、地域主導でいろいろな運動の機会を提案するとともに、大人と子どもたちとの交わりの場をつくる。
- ③学校が休日のときの小学生が、地域の指導者のもとで大好きな運動を地域で実践でき、「走る・投げる・跳ぶ等の基本的な動き」を習得できる環境をつくる。

実施内容

1 「うんどうクラブ」の組織運営

(1) 構成

2008年度の「うんどうクラブ」創立にかかわった立ち上げ有識者たちが事務局となり、種目別コーチ陣と父母会を下部組織として構成している。本年度の参加児童は68名で、全校児童の44%である。(2008年度は74名、2009年度は70名)

(2) 年会費

1,500円。全員がスポーツ傷害保険に加入している。

2 学校との連携

- (1) 月2回（第2土曜日と第4日曜日の午前）を基本の活動日とし、村櫛小スポーツ施設（グラウンドと体育館）及び運動用具を借用申請して活動している。
- (2) 学校は部員募集の協力をしている。

3 子どもの発達段階や興味・関心に応じた運動種目

(1) ソフトボール

ソフトボールに本格的に取り組みたい子どものために、ソフトボール限定の練習日を設け、近隣小学校区の学校と合同練習や練習試合をしている。

(2) ティーボール、タグラグビー

低学年の子どもも意欲を高められ楽しく運動できるように、自作の用具を使用したり、運動のルールを工夫したりして取り組んでいる。

(3) キンボール

1年生から6年生までの異年齢集団を生かし、だれもが運動する楽しさを味わえるようにニュースポーツの導入に積極的に取り組んでいる。

(4) 近隣地域のマラソン大会への参加

他のスポーツにも挑戦する機会を設けることで運動の楽しみを広げ、生涯スポーツにつながるような取組をしている。

実施上で工夫したこと

- ①地域の大人が指導できる（したい）種目を提案していくことで、父母会は補助（練習の手伝いや日程連絡等）の形で気軽に参加でき、親子のふれあいの機会が増えた。
- ②異年齢での運動と性別や発達段階に合わせた運動とのバランスを考え、運動種目を選んで活動している。
- ③近隣地域とのソフトボール合同練習で別の指導者から指導を受ける機会や他地域の子どもの対戦や合同チームとして活動する機会を設けた。

主な成果



- ①運動好きな子どもが増え、放課後や休日には学校や地域の広場で運動をしている子どもたちの姿が多く見られるようになった。(ソフトボール、サッカー、一輪車等)
- ②各学年、新体力テストでソフトボール投げや20mシャトルラン等を中心に市の平均を上回る種目が増えた。
- ③ソフトボールやスーパードッジ等で他校と合同練習をしたり合同チームを編成したりしたことで、運動を通して人とのかかわりが積極的になった。



ソフトボール①

指導者と一緒にゲーム形式の練習



ソフトボール②

チームに分かれて試合



タグラグビー①

タグを取られないように走る練習



タグラグビー②

チームに分かれてゲームを楽しむ



キンボール

ニュースポーツに親しむ



自作の用具(ティーボール)

塩ビパイプとゴム管を使ってつくったティーと低学年用のゴムボール